



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月6日  
東

上場会社名 株式会社中山製鋼所 上場取引所  
コード番号 5408 URL <https://www.nakayama-steel.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 箱守 一昭  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 阪口 光昭 (TEL) 06-6555-3035  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	129,656	△6.2	6,706	△29.4	6,607	△29.8	4,528	△30.6
2024年3月期第3四半期	138,235	△2.2	9,498	△15.8	9,418	△15.7	6,522	△22.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 4,281百万円(△37.1%) 2024年3月期第3四半期 6,811百万円(△20.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	83.60	—
2024年3月期第3四半期	120.47	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	148,478	106,197	71.5
2024年3月期	152,087	104,553	68.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 106,197百万円 2024年3月期 104,553百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	19.00	—	31.00	50.00
2025年3月期	—	18.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	22.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	172,000	△6.7	8,100	△34.3	7,500	△38.7	5,500	△38.2	101.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	63,079,256株	2024年3月期	63,079,256株
2025年3月期3Q	8,903,863株	2024年3月期	8,921,772株
2025年3月期3Q	54,167,442株	2024年3月期3Q	54,148,226株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、回復傾向にはあるものの物価上昇が下押し要因となったことで小幅な改善にとどまりました。一方で不安定な海外情勢やガソリン補助金の終了による燃料価格の動向など引き続き注視が必要な状況にあります。

当社グループの主力事業である鉄鋼業界におきましては、資材高騰や人手不足に伴う工期の遅れなどにより建設・製造業向けの国内需要は低位に推移しており、また安価な輸入材流入の影響もあることから困難な状況が今後続くことが予想されます。そのような環境の中ではありますが、当社グループは安定した操業の下で、電気炉製品や高付加価値製品の拡販など収益性を高めるべく諸施策を実行してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,296億56百万円(前年同期比85億78百万円減)、営業利益67億6百万円(前年同期比27億92百万円の減益)、経常利益66億7百万円(前年同期比28億10百万円の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益45億28百万円(前年同期比19億94百万円の減益)となりました。

当第3四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、次のとおりであります。

鉄鋼につきましては、生産性向上により製造コストの改善を図れた一方で、鋼材の販売価格の下落や販売数量の急速な減少に伴い減収になったことに加え、固定費の増加や在庫影響などにより減益となりました。

これらの結果、売上高は1,276億55百万円(前年同期比86億7百万円減)、経常利益は61億62百万円(前年同期比28億68百万円の減益)となりました。

エンジニアリングにつきましては、海洋部門の売上減などにより、売上高は13億92百万円(前年同期比33百万円減)、経常利益は19百万円(前年同期比26百万円の減益)となりました。

不動産につきましては、賃貸収入を中心に安定した収益を確保し、売上高は10億42百万円(前年同期比34百万円減)、経常利益は5億24百万円(前年同期比2百万円の減益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,484億78百万円となり、前連結会計年度末と比べ36億9百万円減少しました。これは主として、商品及び製品、原材料及び貯蔵品が増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものであります。

負債は422億80百万円となり、前連結会計年度末と比べ52億54百万円減少しました。これは主として、支払手形及び買掛金、未払金、未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は1,061億97百万円となり、前連結会計年度末と比べ16億44百万円増加しました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内鉄鋼需要の低迷や安価な輸入材の流入が続くことが予想され、販売数量は減少する見込であります。また販売価格の下落に加え、足元の主原料価格は下落しているものの、在庫影響や在庫評価損により、収益は悪化する見通しであります。

以上の状況を踏まえた上で、2025年3月期の連結業績予想につきましては前回発表(2024年11月6日)より変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,487	14,470
受取手形、売掛金及び契約資産	37,960	30,257
電子記録債権	9,142	9,605
商品及び製品	16,074	16,677
仕掛品	5,270	5,495
原材料及び貯蔵品	10,648	14,637
その他	929	1,053
貸倒引当金	△40	△30
流動資産合計	96,472	92,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,605	7,843
機械及び装置（純額）	15,590	15,735
土地	22,603	22,603
その他（純額）	1,333	1,425
有形固定資産合計	47,132	47,607
無形固定資産	454	494
投資その他の資産		
投資有価証券	3,607	3,667
差入保証金	2,367	1,752
その他	2,084	2,820
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	8,028	8,208
固定資産合計	55,615	56,310
資産合計	152,087	148,478

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,742	16,498
電子記録債務	1,654	2,089
短期借入金	9,565	9,172
未払金	3,042	1,840
未払費用	1,987	2,013
未払法人税等	1,629	374
賞与引当金	1,074	489
環境対策引当金	57	27
解体撤去引当金	109	97
その他	909	899
流動負債合計	38,772	33,502
固定負債		
長期借入金	62	29
繰延税金負債	3,412	3,320
再評価に係る繰延税金負債	1,001	1,001
環境対策引当金	19	18
解体撤去引当金	187	187
関係会社事業損失引当金	627	627
退職給付に係る負債	2,214	2,299
その他	1,237	1,293
固定負債合計	8,762	8,778
負債合計	47,534	42,280
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,044	20,044
資本剰余金	7,841	7,857
利益剰余金	72,895	74,769
自己株式	△774	△773
株主資本合計	100,007	101,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,565	1,355
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	2,389	2,389
退職給付に係る調整累計額	591	553
その他の包括利益累計額合計	4,545	4,298
純資産合計	104,553	106,197
負債純資産合計	152,087	148,478

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	138,235	129,656
売上原価	119,134	112,761
売上総利益	19,100	16,895
販売費及び一般管理費		
販売費	4,097	4,301
一般管理費	5,504	5,887
販売費及び一般管理費合計	9,601	10,189
営業利益	9,498	6,706
営業外収益		
受取利息	40	38
受取配当金	97	92
持分法による投資利益	115	43
その他	151	110
営業外収益合計	404	285
営業外費用		
支払利息	106	125
賃借料	103	101
その他	274	157
営業外費用合計	484	384
経常利益	9,418	6,607
特別利益		
固定資産売却益	556	2
その他	470	-
特別利益合計	1,027	2
特別損失		
固定資産除却損	967	84
固定資産売却損	0	4
その他	71	-
特別損失合計	1,039	89
税金等調整前四半期純利益	9,406	6,521
法人税等	2,883	1,993
四半期純利益	6,522	4,528
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,522	4,528

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	6,522	4,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	286	△209
繰延ヘッジ損益	△0	0
退職給付に係る調整額	1	△37
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	288	△247
四半期包括利益	6,811	4,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,811	4,281
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間の期首より適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首より適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,924百万円	2,139百万円

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	エンジニア リング	不動産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	136,107	1,375	—	137,482	—	137,482
その他の収益	—	—	752	752	—	752
外部顧客への売上高	136,107	1,375	752	138,235	—	138,235
セグメント間の内部売上高又は振替高	155	50	324	530	△530	—
計	136,263	1,426	1,076	138,765	△530	138,235
セグメント利益 (経常利益)	9,030	46	527	9,604	△185	9,418

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	9,604
セグメント間取引消去	△4
全社営業外損益(注)	△181
四半期連結損益計算書の経常利益	9,418

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	エンジニア リング	不動産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	127,533	1,381	—	128,914	—	128,914
その他の収益	—	—	741	741	—	741
外部顧客への売上高	127,533	1,381	741	129,656	—	129,656
セグメント間の内部売上高又は振替高	122	11	300	433	△433	—
計	127,655	1,392	1,042	130,090	△433	129,656
セグメント利益 (経常利益)	6,162	19	524	6,706	△99	6,607

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	6,706
セグメント間取引消去	4
全社営業外損益(注)	△103
四半期連結損益計算書の経常利益	6,607

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。